



U266-3020×01(00)
7119204001 XI-25



71192040

リモコン工事説明書

浴室リモコンBC-126V-SK
浴室リモコンBC-127V-SK
浴室リモコンBC-126V

浴室リモコンBC-127V
浴室リモコンBC-129V
浴室リモコンBC-140V-HOL

警告

機器の設置工事・付帯工事は専門の資格者が行う

機器の設置工事・付帯工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置工事・付帯工事は必ずお買い上げの販売店に依頼し、有資格者による正しい工事を行ってください。お客様自身での設置工事・付帯工事は、絶対に行わないでください。思わぬ事故になります。

設置工事をされる方へのお願い

この工事説明書と機器本体の設置工事説明書をよくお読みになり、正しく設置、取付および付帯工事を行ってください。当説明書および機器本体の設置工事説明書に記載されている以外の方法による設置、取付および付帯工事が原因で生じた事故および損傷・人身事故等は設置工事者の責任となります。

1. 梱包部品の確認

取り付け方法によっては使用しない部品があります。

取り付ける前に部品の確認をお願いします。

| 浴室リモコン | リモコン工事説明書 | 浴室リモコンねじセット | | |
|--------|-----------|-------------------|----------------------|-----------------|
| | | 木ねじ(4×25) (2本) | オールプラグ(6×25) (2個) | 突合せ形接続子 (2個) |

※リモコンの変形や取り付け不良の原因となりますので、ねじ類は必ずリモコンに付属のものを使用してください。

2-1. リモコン取り付け時の注意

- リモコンの取り付けの際は、設置場所・リモコン品名を確認してください。
- 特殊薬品（アンモニア、硫黄、塩素、酸類など）を使用する場所には取り付けないでください。リモコンが故障するおそれがあります。
- 屋外や直射日光が当たる場所には取り付けないでください。
- ガステーブル、コンロの上など（温度の高くなる所、油のかかる所など）には取り付けないでください。電気部品が破損したり、外装が変形するおそれがあります。
- 加湿器・乾燥器などの吹き出し口付近には取り付けないでください。
- 幼児の手の届かない場所に取り付けてください。
- お客様がリモコンの操作をしやすい場所に取り付けてください。
- 音声スピーカーが搭載されているリモコンに金属屑が付着すると音割れなどの原因になります。リモコンに金属屑などが付着しないように、壁に取り付ける直前に梱包材を外してください。

2-2. 2心ケーブル接続時の注意

- 機器本体からリモコンまでの接続はDC24V以下で、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事を行ってください。
- 2心ケーブルは高温になる場所には配線しないでください。
- リモコン本体（外周）と壁の間に2心ケーブルをはさまないようにして取り付けてください。
- 2心ケーブルをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収めて2心ケーブルに傷が付かないように保護してください。またメタルラスなどを有する壁を貫通する場合は、メタルラスなどと金属電線管が接触しないよう、十分に距離を確保してください。
- 2心ケーブルが余る場合は、機器の外で処置してください。機器の中へは絶対に押し込まないでください。

注意

- 2心ケーブルを機器本体と接続する際は、機器本体の漏電ブレーカーをコンセントから抜いてください。感電、故障のおそれがあります。

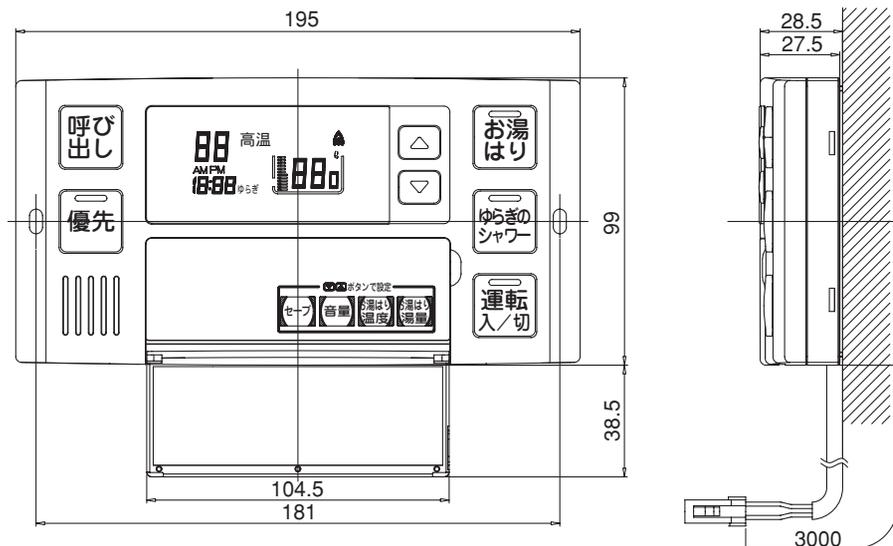


3. リモコンの寸法図

(単位：mm)

※右記の図は浴室リモコンBC-140V-HOLの例です。

※浴室リモコンBC-127V-SK・BC-126V-SKは、2心ケーブルの長さが4000mm、2心ケーブルの端にはY端子が取り付けられています。



4. リモコンの取り付け方法

⚠ 注意

- リモコンや2心ケーブルの工事の際は、必ず漏電ブレーカーをコンセントから抜いて工事をしてください。漏電ブレーカーを抜かないで工事をする、機器が破損したり、リモコンが作動しないことがあります。
- 試運転の際にリモコンが作動しないときは、漏電ブレーカーを一度抜いてから再度コンセントに差し込んでください。

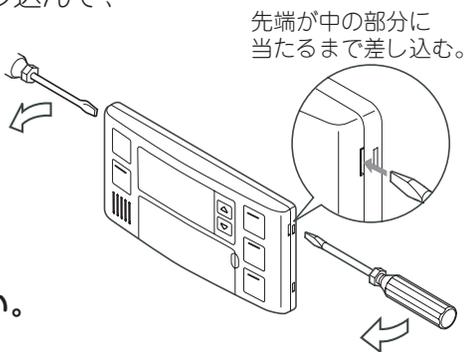


①リモコンのカバーを取りはずしてください。

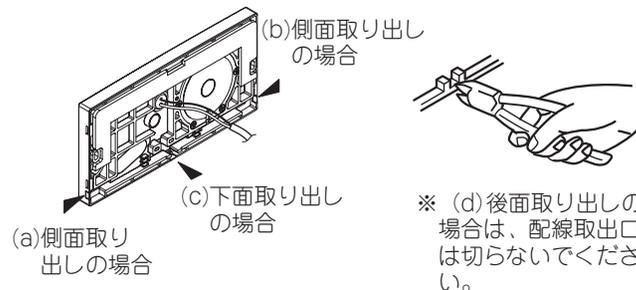
⊖ドライバーをリモコン側面の溝に差し込んで、握り部分をゆっくり手前（正面側）に倒すと簡単にはずれます。反対側も同じ方法ではずします。

注意：ドライバーを差し込むときは、リモコン本体にキズを付けないようご注意ください。また、ドライバーを差し込んだ状態で回転させないでください。キズの原因になります。

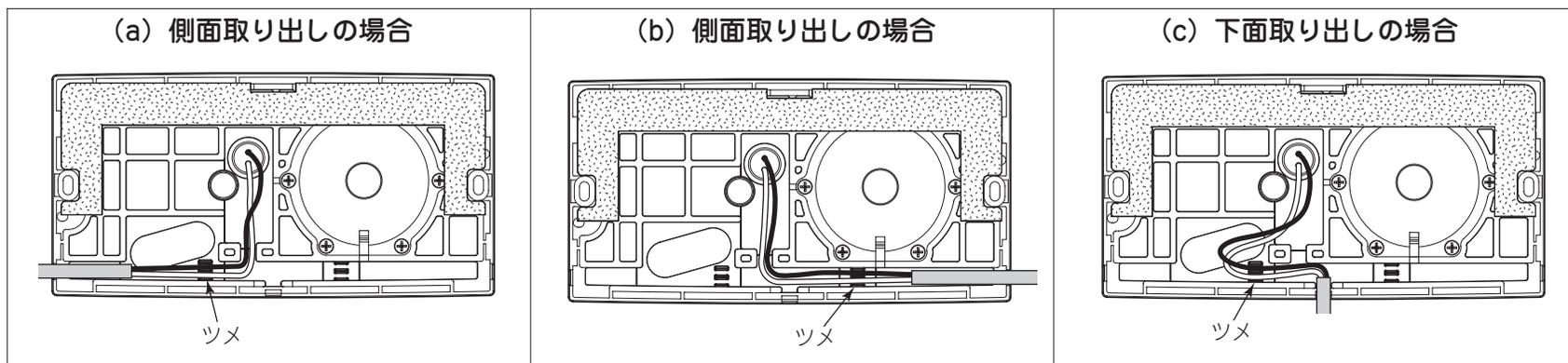
※推奨ドライバー先端巾6mm
(先の細い⊖ドライバーを使用するとキズが付くおそれがあります。)



②2心ケーブルの取り出し方向を確認し、リモコン裏面のいずれかの配線取出口をニッパーなどで切り取ります。



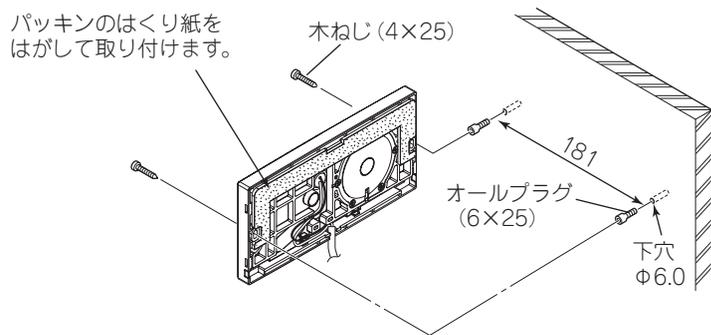
③2心ケーブルをリモコンの裏面の溝にあてがい、下図のようにそれぞれツメにはさんで固定します。



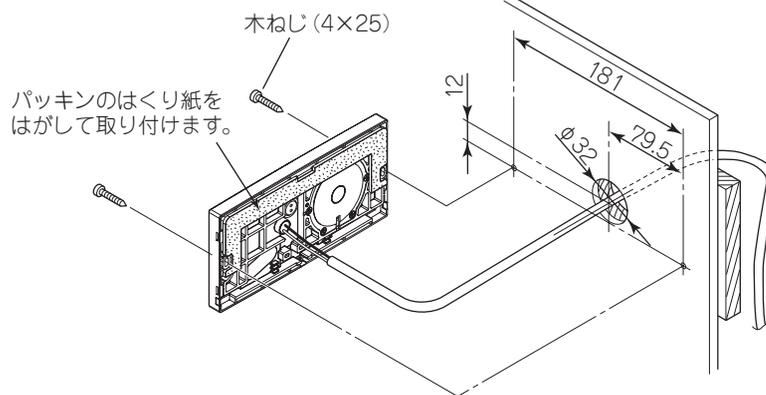
※(d)後面取り出しの場合(ユニットバス等で壁面に穴を開けて後面に2心ケーブルを取り出す場合)は不要です。

④下図のように、取り付ける壁面に合わせてリモコンを固定します。

(a) (b) (c) の場合



(d) 後面取り出しの場合(ユニットバス等)



注) 木ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。樹脂が変形して不具合が発生するおそれがあります。また、トルク規制ができるドリルドライバー(ドライバードリル)の場合は、 $0.49\text{N}\cdot\text{m}$ ($5\text{kgf}\cdot\text{cm}$) 以下のトルクで締め付けてください。

⑤リモコンの操作部に貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。

⑥リモコンのカバーを元通り取り付けてください。

⑦リモコンの周囲をシール材でコーキングします。その際、リモコン下部の通気口は避けてコーキングしてください。



⚠ 注意

通気口をふさいでしまうと、リモコンの不具合や故障の原因となります。

※通気口は、リモコン内外の気圧差を緩和するための空気の通路です。通気口からリモコン内部に水が入り込むことがないように設計されています。

⑧機器本体に同梱の「設置工事説明書(「工事説明書」)」に従って、機器本体と接続してください。